



Activate Your Life

輝け、カガクで。

決算補足説明資料

2026年12月期 第2四半期(中間期)

 日華化学株式会社

東証スタンダード:4463 | 2026年7月31日

目次

01 2026年12月期第2四半期(中間期) 決算概要

02 2026年12月期通期 業績・配当予想

03 Appendix

01

2026年12月期 第2四半期(中間期)

決算概要

売上高・各利益が上期として過去最高

化学品事業

増収・増益

売上高、セグメント利益額ともに
上期として過去最高

- EHD※関連製品売上高・比率増による売上高・利益率増
- 主力の繊維化学品／海外伸長
中国大手加工場好調、インド・バングラデシュ伸長
- 電子材料関係分野新規ビジネス増加

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

化粧品事業

減収・減益

- 主力代理店の在庫調整等による販売減
(代理店→国内サロン販売堅調)
- ODM事業／前年新規分リピート減少
- デミコリア／韓国経済停滞の影響継続

2026年12月期第2四半期(中間期) 連結決算概要

	(百万円)	2025年12月期 2Q実績		2026年12月期 2Q実績		増減額	増減率
			構成比		構成比		
売上高		27,180	100%	31,008	100%	+3,827	+14.1%
■ 化学品事業		19,602	72.1%	23,876	77.0%	+4,274	+21.8%
■ 化粧品事業		7,337	27.0%	6,706	21.6%	△630	△8.6%
その他		240	0.9%	425	1.4%	+184	+76.5%
営業利益 (営業利益率)		1,935 (7.1%)	-	2,653 (8.6%)	-	+717 (+1.5 pt)	+37.1%
■ 化学品事業(セグメント利益)		2,106	71.1%	3,191	86.2%	+1,085	+51.5%
■ 化粧品事業(セグメント利益)		818	27.6%	506	13.7%	△312	△38.1%
その他		39	1.3%	3	0.1%	△35	△90.1%
消去等		△1,028	-	△1,049	-	△20	-
経常利益		1,752	-	2,708	-	+955	+54.6%
親会社株主に帰属する中間純利益		997	-	1,946	-	+949	+95.2%

為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル	中国元	ウォン	国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q	2Q予想	3Q予想
	158.31円(6.2%円安)	(12.0%円安)	(2.6%円安)		65,700円(△10.5%)	116,200円(+75.3%)	93,700円(+48.3%)

経営指標の概要

- ROA、ROE、ROIC、EBITDAは利益増加により向上
- 株価+33%(前年同期末比)によりPBRが向上

	(百万円)	2025年12月期 2Q実績	2026年12月期 2Q実績	増減額	増減率
ROA		6.1%	6.9%	-	+0.8 pt
ROE ※		6.0%	10.7%	-	+4.7 pt
ROIC		6.0%	6.4%	-	+0.4 pt
PBR		0.61倍	0.74倍	-	+0.13 pt
EBITDA		2,980	3,689	+709	-
減価償却費		1,044	1,036	△8	-
年間配当(円)		60	70 (予定)	※第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益を2倍した値を自己資本額(直近期末と2Q末の平均値)で除しています	
(中間配当(円))		(30)	(35)		

連結売上高 増減要因(対前年)

- 化学品事業+29億円増収 化粧品事業△6.5億円減収
- 為替の影響:化学品+13億円 化粧品+0.2億円 期中平均レート158.31円(前期149.00円)

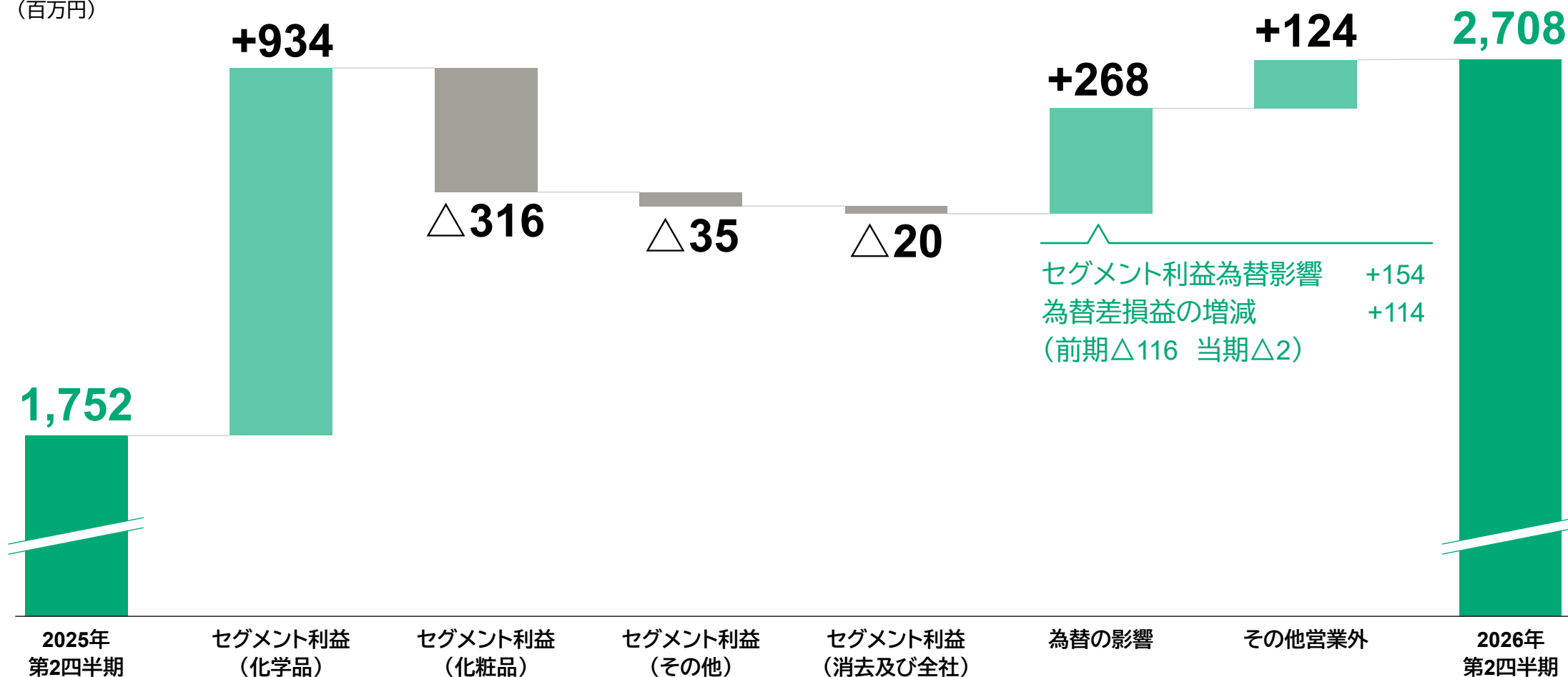
(百万円)



連結経常利益 増減要因(対前年)

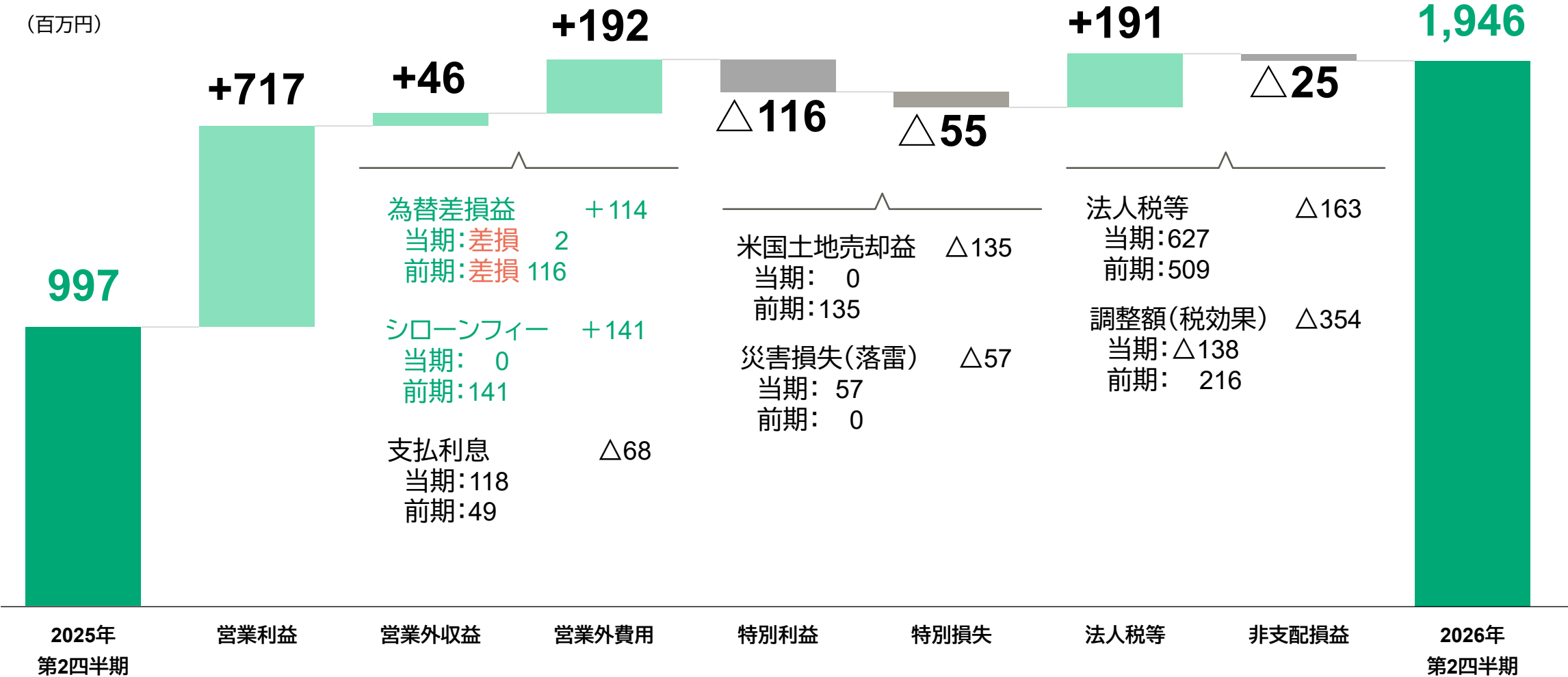
- ・ 営業利益:化学品事業+9.3億円 化粧品事業△3.1億円
- ・ 為替差損益の影響:為替期末日レート(\$)25年12月156.54円→158.31円(1.77円の円安)

(百万円)



連結中間純利益 増減要因(対前年)

(百万円)



セグメント概要

化学品事業

- 創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用
- 2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開



繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル
(先端材料)

主要な 関係会社

- 大智化学産業株式会社(半導体産業向け)
- 日華化学(中国)有限公司
- NICCA KOREA CO., LTD. 他 計14社

化粧品事業

- 主力ブランド「DEMI」を中心とした、プロフェッショナル向け美容室専売品の研究開発
- お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさを追究



ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング

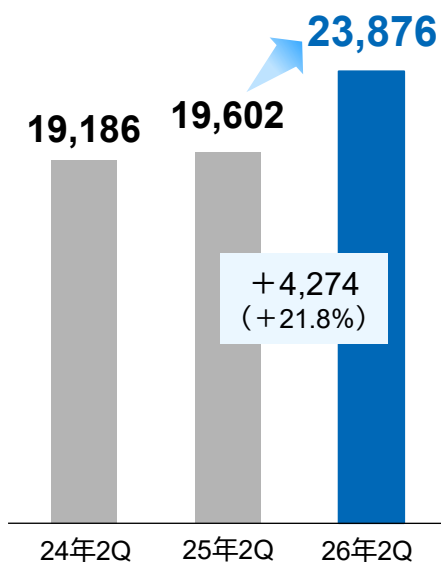
主要な 関係会社

- 山田製薬株式会社(化粧品OEM/ODM)
- イーラル株式会社
- DEMI KOREA CO., LTD. 他 計5社

- EHD関連製品好調、中国・インド・バングラ等海外伸長により、売上高、セグメント利益額ともに上期として過去最高

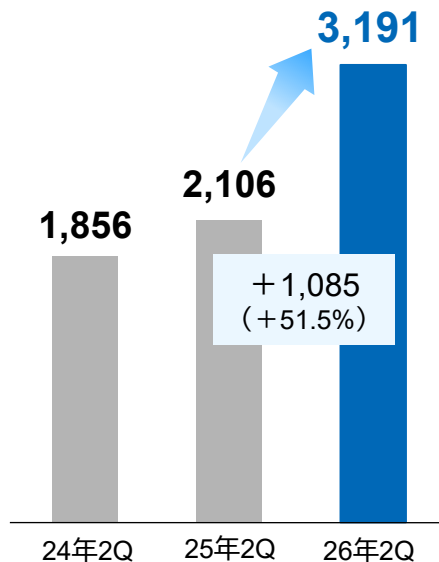
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル	中国元	ウォン
	158.31円 (6.2%円安)	(12.0%円安)	(2.6%円安)
国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q	2Q予想	3Q予想
	65,700円 (△10.5%)	116,200円 (+75.3%)	93,700円 (+48.3%)

主な増減要因

売上高

繊維化学品分野

- + EHD※関連製品販売 引き続き好調
事業譲受含むフッ素フリー系撥水剤、環境配慮型工程薬剤など
- + 中国／大手繊維加工場好調
- + 韓国／受託事業伸長
- + インドビジネス成長、バングラデシュ他アジア全般回復傾向

電子材料関係分野

- + 半導体加工用クーラント剤回復
- + グローバルで新規ビジネス増加

機能化学品分野他

- + ゴム用加工助剤、クリーニング用洗剤、医療機器用洗浄剤伸長

セグメント利益

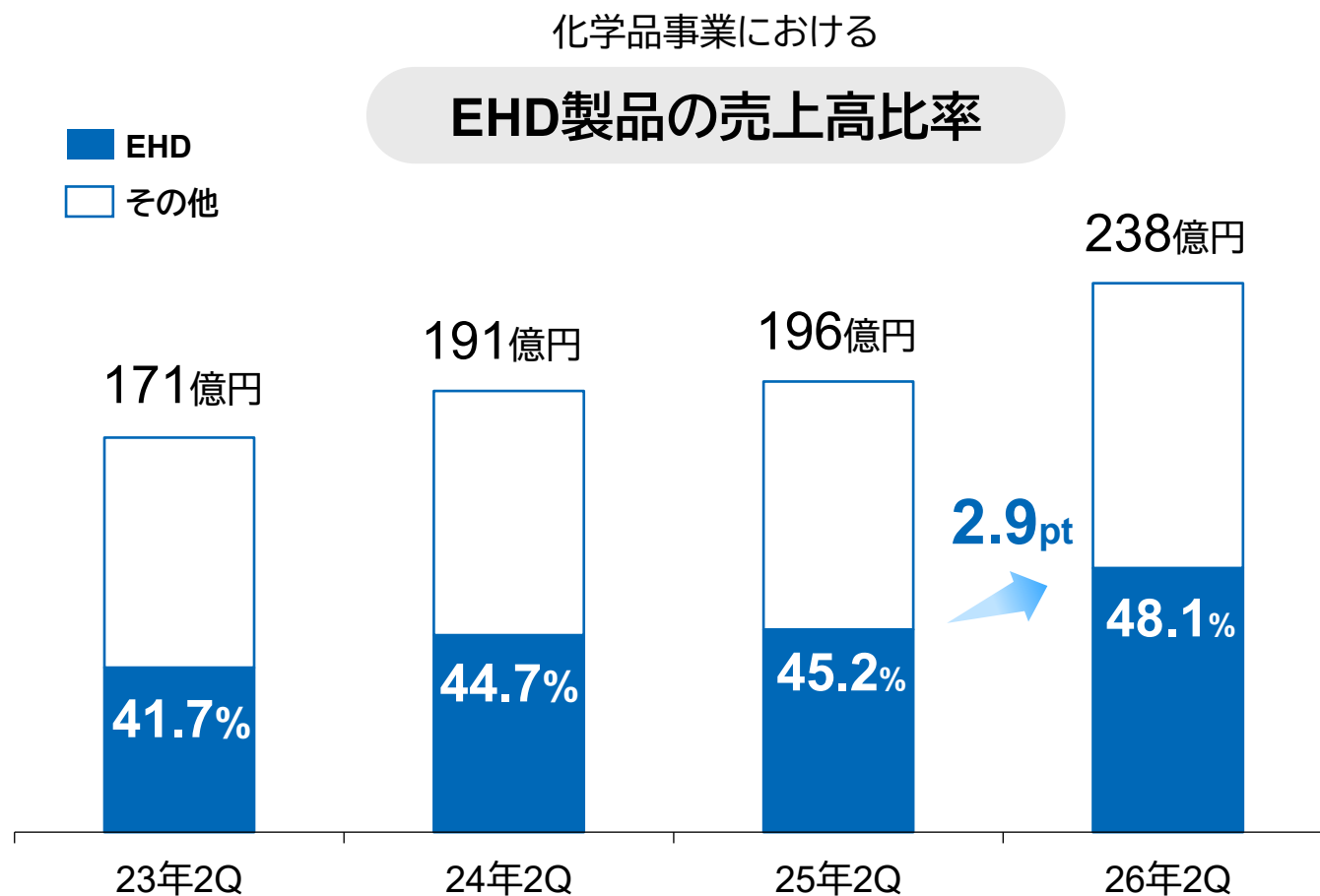
- + EHD※関連製品(高付加価値品)含め売上高増による増益、円安の影響
- 人件費増加

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

施策	進捗状況／第2四半期(中間期)
成長・高収益事業への傾注 • EHDに紐づく新規ビジネス・新規エリアの獲得(EHD売上比率48%) • グローバル拡販強化 • デジタル領域のグローバル展開と新規ビジネスの創出	• EHD関連製品売上高比率 2Qで48.1% (前年同期比 +2.9pt) EHD関連製品売上高 +22%で好調 *EHD製品利益率 +14%〈EHD以外製品比〉 • 新規ビジネス・エリア／新たな電子材料分野の新規獲得・拡販取組中、繊維加工薬剤でインド・バングラデシュ伸長 • グローバル拡販／フッ素フリー系撥水剤、繊維加工用工程薬剤伸長継続 • デジタル領域グローバル展開／台湾、韓国中心に推進継続
収益性向上 • 戦略的調達によるコストダウン(中国、インド、オレオ化学品) • マーケティング力とプライシング力の強化 • リスクマネジメント(為替、地政学)	• 中国拠点を活用した現地原料のグローバル供給、アセアンからの化学品調達推進 • マーケティング力・プライシング力強化／原料代替取組中 • リスクマネジメント／米国通商政策の影響、中東情勢の緊迫化に伴う原料調達

EHD関連製品売上高比率推移

- EHD関連製品利益率：従来製品比 +14%〈2026年上期実績〉
- 売上高比率目標値：2026年48%、2030年55%



- ・ フッ素フリー系撥水剤
- ・ 電子材料関係分野
- ・ 水系ウレタン樹脂 等



ケマーズ社 非フッ素系撥水剤「Zelan™」事業を譲受 業界トップ水準の技術を継承し、当社撥水技術を強化

3月

- 米国のグローバル化学メーカー「ケマーズ社」より、非フッ素系撥水剤「Zelan™」の技術・関連ブランドを譲受
- 日華化学の既存非フッ素系撥水剤事業に本技術が加わる事で製品ラインアップが拡充され、更なるシェアアップへ

譲受される事業について

- 対象資産
 - 「Zelan™」製品の製造・販売権
 - 特許・技術ライセンス
 - 商標使用ライセンス権(Zelan™、Teflon EcoElite™)

- スケジュール

2026年3月	事業の譲受に関する契約締結
2026年8月	事業の完全移管に向けて順調に推移

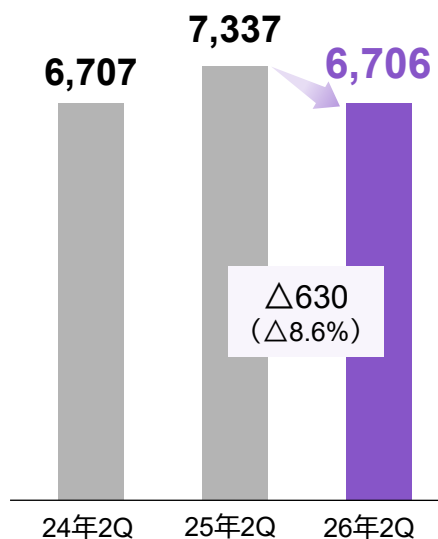
非フッ素撥水剤「Zelan™」とは

- 2015年開発の非フッ素系撥水加工製品・技術
- 植物由来原料を一部用いながら、フッ素系撥水剤と同等レベルの耐久性・高い撥水性能を実現
- アウトドア衣料やスポーツウェアなどを中心に、グローバルでの採用実績あり

- ・新商品滑り出し好調も、デミ主力代理店への販売減、ODM前年新規分リピート減により、**減収・減益**

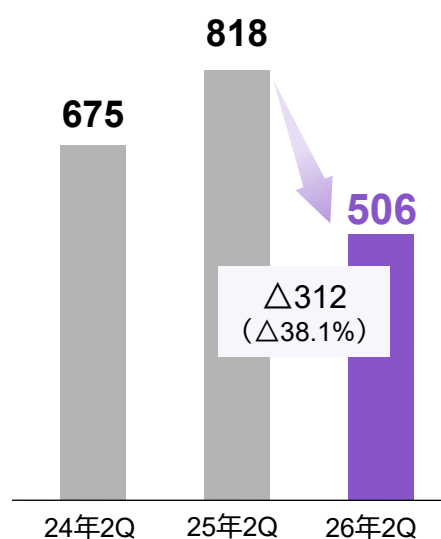
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル	中国元	ウォン
	158.31円 (6.2%円安)	(12.0%円安)	(2.6%円安)
国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q	2Q予想	3Q予想
	65,700円 (△10.5%)	116,200円 (+75.3%)	93,700円 (+48.3%)

主な増減要因

売上高

日華化学デミ コスメティクス(国内サロン向け)

- ➖ 主力代理店の在庫調整等による販売減少
(代理店→国内サロン販売堅調)
- ➕ 新商品／トイロクション ブリーチレスライン※ 滑り出し好調

山田製薬(国内ODM)

- ➖ ODM事業減少
既存大口分受注増も、前年新規分リピート減少

デミコリア

- ➖ 韓国経済停滞の影響継続

セグメント利益

- ➖ 売上高減による減益
- ➖ 人件費増加

※ ブリーチ剤を使用しない

施策	進捗状況／第2四半期(中間期)
国内サロン事業 ・主力ブランドの骨太化 ・有力・有望サロンへの浸透力強化	・有力ターゲットサロンの新規開拓数は好調。下期以降の販売の土台が整いつつある ・ヘアカラー／トリートメント ブリーチレスライン※ 32品6月発売 初回受注は計画比の3倍以上 ※ ブリーチ剤を使用しない ・新オイルブランド「FeTeE(フェテ)」3品9月発売に向け予定通り準備中 ・オウンドメディア「DEMI LABO」PV数 +35%(対前年同期比)
ODM事業 ・ビッグアカウント化強化	・既存大口ODM売上増、前年新規分ODMリピート減も新規案件獲得中
韓国サロン事業 ・店販(ヘアケア)注力 ・店販導線(業務→店販)強化	・ヘアケア売上 △10% ・新オイルブランド「FeTeE(フェテ)」3品3Q発売に向け準備中
化粧品新工場 ・建屋建設完了 ・工場機能移行時に備えた在庫確保	・計画通り進捗／建屋外壁、屋上設備 設置完了 ・進捗率94%(8月末に6カ月分の製品在庫の確保が目標)



化粧品新工場「福井スマートファクトリー」建設 予定通り進捗

- 2027年5月竣工に向け予定通り建設中。建屋外壁、屋上設備 設置完了
- エントランス、各フロアー内装、ユーティリティ設備 工事中
- 危険物倉庫、排水処理施設 建設中



建設工事の様子(7月29日 時点)

化粧品新工場 概要

- 製造キャパシティ**3倍** ※現本社工場比
- 自動化による人時生産性**1.5倍**
- CO₂排出削減など**環境対応工場**



本格稼働	2027年	投資規模	約195億円
建設予定地	福井県福井市稲津町・ 荒木新保町 (北陸道福井ICより0.5km)	補助金上限額	49億 9,991万円(補助率1／3)
面積	土地／39,772㎡ 建物／23,000㎡(延床面積)	資金調達	総額140億円の シンジケートローン



ヘアカラーブランド「TOIROCTION(トイロクション)」より、 新ライン"ブリーチレスライン※"発売

6月

- ・ブリーチ施術を行わなくても高明度・高彩度のカラー表現を実現する新ライン。施術時間、大幅短縮
- ・2026年6月11日(木)、美容技術者専用商品として発売
- ・発売を記念して、SNS参加型イベント「脱ブリーチチャレンジ」や、美容師向けヘアショーイベント「トイロナイト」を開催



「トイロナイト」の様子(7月7日開催)

※ ブリーチ剤を使用しない



新オイルブランド「FeTeE(フェテ)」発売決定

9月

- ・ 日韓共同開発により、日韓双方の声を反映した処方・香りを実現したオイルブランド
- ・ FeteE(フェテ)とは、Feter(フランス語で「祝う」)の過去分詞“祝福された存在”への贈り物であることを表現
- ・ 2026年9月、日本および韓国の取り扱いサロンで同時期発売予定

「FeTeE(フェテ)」商品特徴

1. 「持ち歩けるヘアオイル」

- 香水のように、持ち歩く身だしなみアイテム

2. 「やわらかな質感」

- アジア人の悩みに特化

3. 「新しい香り」

- 調香師によるトレンドを取り入れた3種類の香り

FeTeE





メディアプラットフォーム「note」に、 日華化学公式IRアカウントを開設

7月

- より多くの投資家の皆さまに当社を知っていただき、理解を深めていただくことを目的として、公式IRnoteを開設
- 同時に、上場企業のIR記事を配信する「IR noteマガジン」にも参画
- 適時開示資料や当社IRサイトに掲載している情報を一次情報としながら、決算内容や事業の状況、IRイベントに関する情報などを、より分かりやすく伝える

当社公式IRnoteはこちら

https://note.com/niccachemical_ir



IRnoteマガジンはこちら

[https://note.com/notemagazine/
m/m530d4bde968b](https://note.com/notemagazine/m/m530d4bde968b)



当社公式IRnote マイページ

連結貸借対照表

(百万円)	2025年12月期 期末	2026年12月期 2Q末	増減額	
資産	74,052	78,923	+4,871	(主な増減要因) ・ 商品・製品 +896 ・ 原材料・貯蔵品 +1,000 ・ 無形固定資産 +2,166
流動資産	35,715	37,792	+2,076	
固定資産	38,336	41,131	+2,794	
負債	35,697	38,353	+2,656	(主な増減要因) ・ 仮受金(補助金入金額) +2,406 ・ 支払手形・買掛金 +371 ・ 長期借入金 △691
流動負債	22,983	25,884	+2,900	
固定負債	12,713	12,469	△244	
純資産	38,354	40,570	+2,215	(主な増減要因) ・ 利益剰余金 +1,456 ・ 為替換算調整勘定 +487
負債純資産合計	74,052	78,923	+4,871	
自己資本比率	47.5%	47.2%	△0.3pt	
有利子負債	18,536	17,344	△1,192	

- ・ 営業CF：＋12億円(収入) EBITDA 37億円、戦略的棚卸資産増※18億円、法人税支払5億円
※化粧品／新工場移行に備えた在庫積み上げ、化学品／事業の譲受に伴う在庫増等
- ・ 投資CF：＋0.2億円(収入) 固定資産取得、販売権取得による支出23億円、補助金入金24億円
- ・ 財務CF：△19億円(支出) 借入金返済12億円、配当金支払6億円

華化学株式会社

02

2026年12月期 通期

業績・配当予想

2026年12月期通期 連結業績予想

- 中東情勢緊迫化に伴う原材料等高騰影響は現時点で把握可能なもののみ織り込み
原材料・各種コストの高騰を踏まえたコストダウン・価格改訂、「Zelan™」事業譲受、為替レート等を反映
- 今後、業績予想修正の必要が生じた場合には、速やかに開示予定

			(2月13日時点)			(7月31日時点)				
			2025年12月期 実績	2026年12月期 予想(当初)	2026年12月期 予想(修正)	増減額 (当初予想比)	増減率 (当初予想比)	増減額 (前期比)	増減率 (前期比)	
(百万円)										
売上高			55,705	58,500	64,000	+5,500	+9.4%	+8,295	+14.9%	
■ 化学品事業			39,894	41,800	48,200	+6,400	+15.3%	+8,305	+20.8%	
■ 化粧品事業			15,259	15,800	14,800	△1,000	△6.3%	△459	△3.0%	
その他			550	900	1,000	+100	+11.1%	-	-	
営業利益			3,847	4,200	5,400	+1,200	+28.6%	+1,553	+40.4%	
(営業利益率)			(6.9%)	(7.2%)	(8.4%)	(+1.2pt)		(+1.5pt)		
■ 化学品事業(セグメント利益)			3,948	4,150	5,800	+1,650	+39.8%	+1,851	+46.9%	
■ 化粧品事業(セグメント利益)			1,966	2,050	1,700	△350	△17.1%	△267	△13.6%	
その他(セグメント利益)			90	100	50	△50	△50.0%	-	-	
消去等			△2,158	△2,100	△2,150	△50	-	-	-	
経常利益			3,849	4,050	5,400	+1,350	+33.3%	+1,550	+40.3%	
親会社株主に帰属する当期純利益			2,384	2,800	3,800	+1,000	+35.7%	+1,416	+59.4%	
為替(米ドル)	修正前	修正後	国産ナフサ	1Q	2Q予想	下期				
	150円	158円		65,700円	116,200円	93,700円				

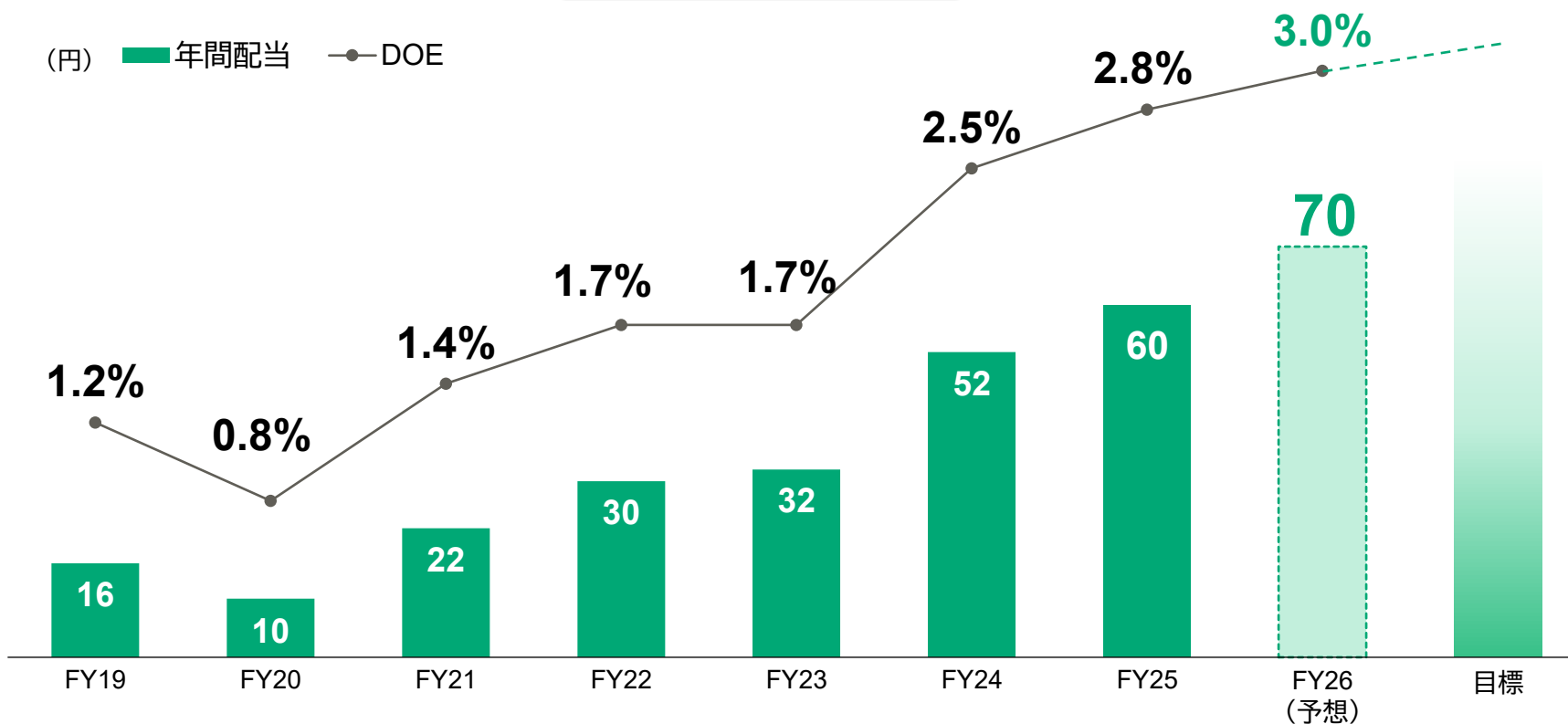
2026年12月期 年間配当予想

- 2026年12月期 年間配当予想は70円(前年比+10円)で期初予想から変わらず
- DOE3.0%(同+0.2ポイント)**で6期連続増配過去最高

配当方針

累進配当+DOE(自己資本配当率)3.0%を目安として拡充し、その後もDOE向上を継続して検討

配当の状況



03

Appendix

財務データ等推移

(百万円)

項目	2017/2Q	2018/2Q	2019/2Q	2020/2Q	2021/2Q	2022/2Q	2023/2Q	2024/2Q	2025/2Q	2026/2Q
売上高	23,414	24,752	23,649	19,753	24,100	24,917	24,306	26,044	27,180	31,008
EBITDA のれん償却額反映	1,999	2,180	1,703	1,678	2,654	2,566	1,533	2,713	2,979	3,697
(EBITDA率)	8.5%	8.8%	7.2%	8.5%	11.0%	10.3%	6.3%	10.4%	11.0%	11.9%
減価償却費 のれん償却額含む	923	967	933	1,339	1,241	1,180	1,101	1,087	1,044	1,036
営業利益	1,076	1,213	770	339	1,413	1,386	432	1,626	1,935	2,653
(営業利益率)	4.6%	4.9%	3.3%	1.7%	5.9%	5.6%	1.8%	6.2%	7.1%	8.6%
経常利益	1,099	1,266	681	470	1,596	1,823	766	2,007	1,752	2,708
親会社株主に帰属する中間純利益	571	1,829	329	175	1,583	1,058	285	1,217	997	1,946
1株当中間純利益(円)	36.45	116.58	20.95	11.17	100.59	67.14	18.06	77.01	62.93	122.27
配当金(円)	8	8	8	4	8	11	16	25	30	35
自己資本比率	34.7%	35.7%	37.0%	37.6%	44.7%	48.7%	52.4%	55.1%	50.5%	47.2%
ROE	6.7%	18.9%	3.3%	1.8%	14.2%	8.0%	2.0%	7.7%	6.0%	10.7%
ROA	4.3%	4.4%	2.8%	1.3%	5.3%	5.0%	1.5%	5.6%	6.1%	6.9%
研究開発費	986	1,085	1,022	982	1,062	1,083	1,136	1,223	1,296	1,354
従業員数(人)	1,455	1,490	1,514	1,503	1,472	1,469	1,508	1,529	1,554	1,631

※ は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準 第29号)等適用によりそれ以前とは基準が異なる項目

会社概要

商号	日華化学株式会社(証券コード 4463)
本社	福井県福井市文京4丁目23-1
創立	1941(昭和16)年9月15日
資本金	28億9,854万円
発行済株式数	1,771万株
決算期	12月31日
従業員数	連結／1,631名 単体／657名(2026年6月30日現在)
事業内容	繊維を主とする各種産業用界面活性剤 および化学品、化粧品等の製造・販売
上場証券取引所	東証スタンダード、名証プレミア



数字で知る日華化学

創立
(1941年9月15日)

84年

SINCE 1941

本社／福井県福井市

売上高
(2026年12月期予想)
業績予想上方修正後

640億円



前期比／14.9%UP

営業利益
(2026年12月期予想)
業績予想上方修正後

54億円



前期比／40.4%UP

共同研究機関数
(2025年12月末時点)

46機関



グローバル

従業員数
(2026年6月末時点)

1,631名



単体／657名

海外拠点数
(2026年6月末時点)

9つの国と地域
14拠点



工場・研究所含む

海外売上高比率
(2025年12月期)

48%



グローバル企業

配当＋株主優待利回り
(2026年6月末時点)

4.98%



500株保有の場合



＝ 様々なモノとモノの境界面を
“アクティベート(活性化する)” 技術 で、
人々の暮らしや社会を輝かせる会社



\ココにもソコにも！/ 実は身近な**日華化学**の技術！



化粧品事業



ヘアケア剤、カラー剤
スタイリング剤など

化学品事業



カーシートの難燃剤・防汚剤など



衣類の撥水剤、
吸水速乾剤、抗菌消臭剤など



クリーニング用洗剤・柔軟剤など



新聞紙等の脱墨剤など

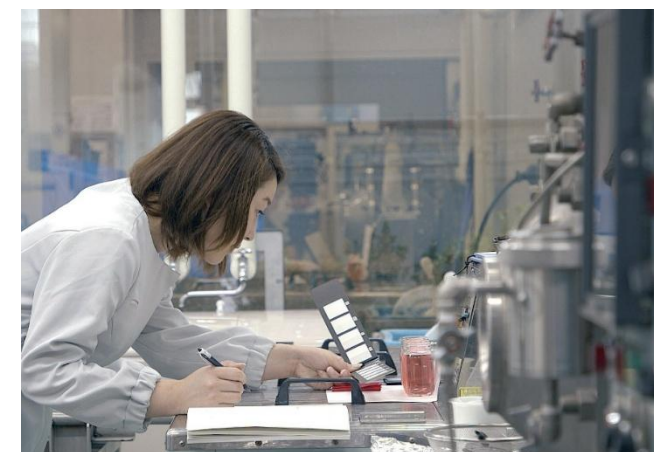


デジタルデバイスの
潤滑材・防汚剤など

企業理念

「製品を売るにあらずして技術を売る」

NICCA イノベーションセンター(研究開発拠点)を中心に、
ビジネスパートナーとの距離を縮め、新しい製品と事業の創出を加速させています

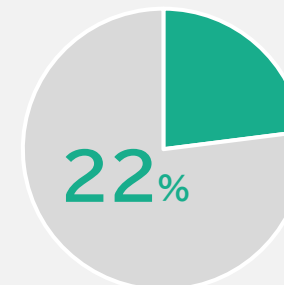


✓ **約5人に1人** が、研究開発に従事！

<研究開発人員比率>

当社単体 22%、国内製造業平均* 8%

*当社調べ(国内製造業のうち、従業員数が同規模企業の平均)



日華化学について(グローバル展開)



繊維産業はグローバルの人口増加に合わせて**需要拡大**

1968年からアジア諸国を中心に積極的なグローバル展開し、成長する海外市場にいち早く参入

海外拠点数

アジアを中心に、
9つの国と地域に

14 拠点

(工場・研究所含む)

海外売上高比率

全体売上高の

48 %

(2025年度実績)



【強み・模倣困難ポイント】



×



×



+



現地開発・現地生産・現地販売

各拠点の連携



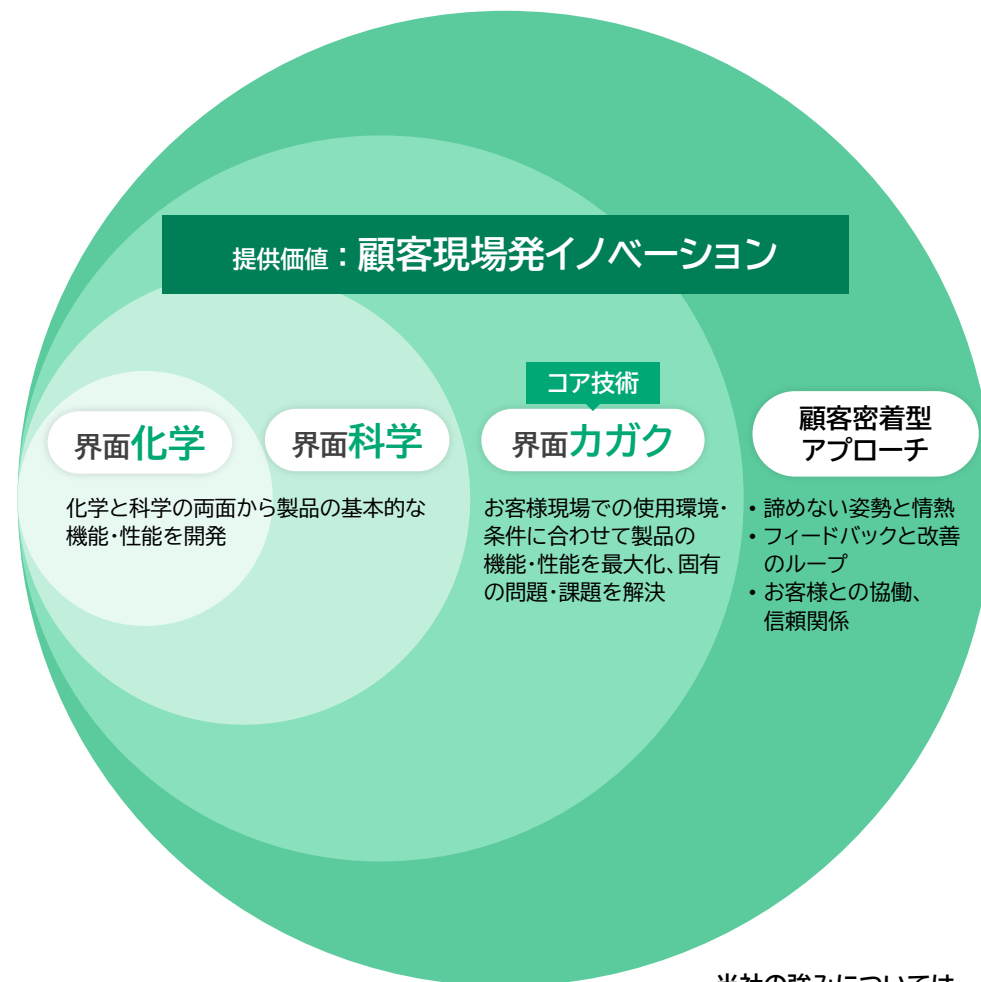
**『顧客現場発イノベーション』を
海外でも同様に実践**

「顧客現場発イノベーション」については、
こちらよりご覧いただけます



日華化学について(強み)

「**界面科学**」を基盤とした5つのコア技術により、人々の暮らしの“あたりまえ”を支え、アップデートし続けるグローバルネットワークと研究開発に強みを持つ当社だからこそ**出来る「顧客現場発イノベーション」**を提供



※機能・製品・市場については代表的な一例を記載

当社の強みについては、
こちらよりご覧いただけます





目には見えないけれど、あなたの毎日を支える技術で、
国内シェアNO.1・世界トップクラスの製品を多数展開

01

繊維 関連の化学品

工程薬剤

洗う・染める工程等で使用する薬剤



SMART
DYEING
PROCESS

- ✓ 環境負荷低減(節水・省エネ)
- ✓ 生産効率向上(時短)
- ✓ 作業環境改善 に貢献

仕上げ剤

付加価値を加える薬剤



撥水剤・消臭剤



防炎剤・抗菌剤



防汚剤・難燃剤 など

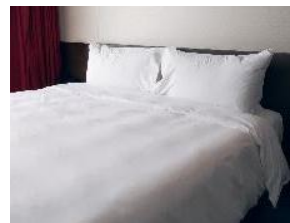
02

クリーニング・医療 関連の化学品

クリーニング用薬剤



ホテルリネン用薬剤



手術器具の洗浄剤 など

03

スペシャリティケミカル

*グループ会社:大智化学産業(株)

半導体用薬剤



新聞紙等の脱墨剤



感熱紙用薬剤 など

日華化学について(化学品事業)

高機能

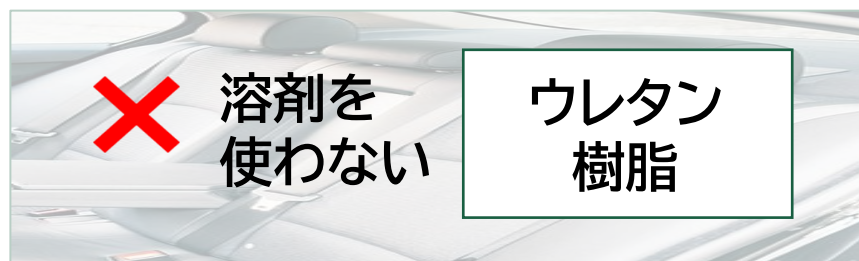
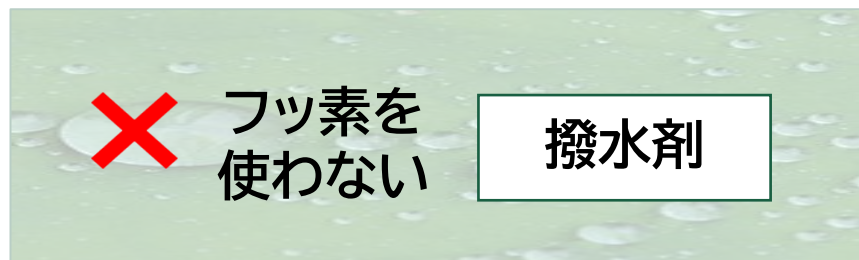


サステナブル

な製品開発で世界をリード

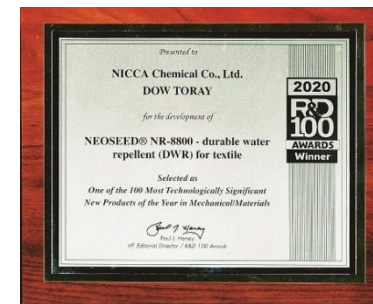
経済産業省「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」にも選出

(製品例)



「2020 R&D100 AWARDS」受賞

R&D
100
AWARDS



世界的大手メーカーに多数採用
(アパレル／自動車／半導体など)



日華化学について(化粧品事業)



絹を綺麗に洗う・ウールを痛めずに染める技術を毛髪に応用(1981年～)

研究開発型企业として、業界で確固たる地位を確立

01

DEMI

EraL

美容室専売品 (2つの自社ブランド)

*グループ会社:イーラル(株)

施術品

美容師さんが施術で使う業務用の商品



- ・ヘアケア剤
- ・スカルプケア剤
- ・スタイリング剤
- ・カラー剤
- ・パーマ剤 など

店販品

美容室で来客者に販売する商品



- ・ヘアケア剤
- ・スカルプケア剤
- ・スタイリング剤 など

02

ODM

*グループ会社:山田製薬(株)

相手先ブランドの
受託開発・受託生産



「髪を科学する」～頭皮と髪健康と美しさを科学で進化させる～

【強み】“レシピの開発力”

- ✓ 毛髪科学による高い研究開発力
- ✓ 国内有数の研究機関・大学との共同研究
- ✓ 髪の特化スペシャリスト 美容師との連携

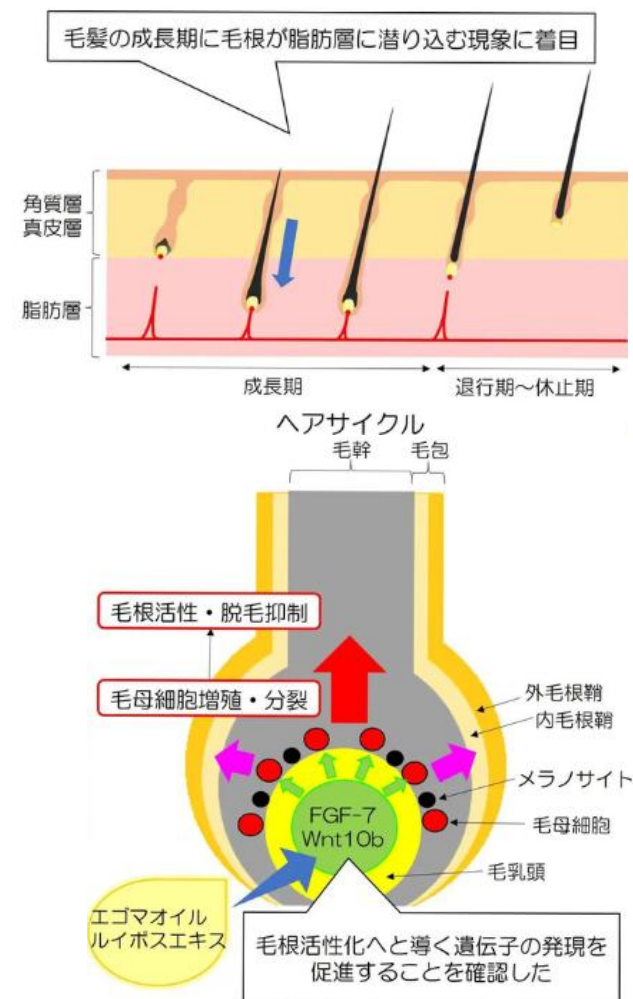


3,000 以上のレシピを保有

一人ひとり異なる
毛髪の悩みに
応える商品群

豊富なレシピで
取引先のニーズを
具現化(ODM)

お客様からの
高いリピート率



輝け、カガクで。

Activate Your Life

お問い合わせ先

日華化学株式会社 IR担当

 (0776)25-8584(直通)

 ir@niccachemical.com

この資料には、2026年7月31日時点の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。

経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。